

令和 3 年浦安市教育委員会第 1 回定例会会議録

浦安市教育委員会

令和3年浦安市教育委員会第1回定例会

- I. 日 時 令和3年1月7日(木)  
開 会 午後3時00分  
閉 会 午後4時14分
- I. 場 所 浦安市役所 4階 S5, 6会議室
- I. 進 行 教 育 長 鈴木 忠 吉
- I. 出席委員 教育長職務代理者 宮 道 力  
委 員 宮 澤 ミシェル  
委 員 吉 野 則 子  
委 員 影 山 純 二
- I. 出席説明者 教 育 総 務 部 長 白 石 嘉 雄  
教 育 総 務 部 参 事 大 友 隆 司  
教 育 総 務 部 次 長 醍 醐 恵 二  
教育総務部副参事(教育総務課長) 河 野 良 江  
指 導 課 長 丸 山 恵美子  
教育研究センター所長 山 本 典 子  
千鳥学校給食センター  
第一・第二・第三調理場所長 平 林 俊 明  
生涯学習部長 八 田 吉 浩  
生涯学習部次長 島 崎 浩 一  
生涯学習部課長 土 久 菜 穂  
市民スポーツ課長 森 田 和 徳  
青少年センター所長 堀 木 和 久  
郷土博物館長 金 子 義 則

I. 傍 聴 人            3名

I. 案            件

第1. 会議録の承認

1. 令和2年浦安市教育委員会第11回定例会会議録の承認について

第2. 教育長からの一般報告

第3. 審議事項

議案第1号 浦安市奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

議案第2号 浦安市教育委員会バスの運行に関する規則の一部を改正する規則の制定について

第4. 協議事項

第5. 報告事項

1. 行事開催案内

- (1) 令和2年度教育実践事例発表会について
- (2) NTTコミュニケーションズシャイニングアークス応援バスツアー
- (3) 令和2年度企画展「浦安の海苔養殖」開催案内

2. 行事・会議報告

- (1) 令和2年度生涯学習フォーラム開催報告
- (2) 令和2年度第4回社会教育委員会議開催報告
- (3) 令和2年度第2回浦安市青少年センター運営協議会開催報告

3. その他・報告事項

- (1) 教育委員会共催・後援行事一覧
- (2) 令和2年度2学期相談事業実施状況について

- (3) 千葉県産水産物を活用した学校給食提供事業実施報告
- (4) 令和2年度冬季休業中における事故等について

## 第6. その他

開 会 (午後 3 時00分)

鈴木教育長 これより令和3年浦安市教育委員会第1回定例会を始める。  
まず、前回会議の報告の訂正について、事務局からの説明を求める。

土久生涯学習課長 前回の会議の報告事項の中で、第40回市美術展開催報告を行ったが、その資料の一部に誤りがあったため、訂正する。  
資料22ページにある昨年分入場者数について、1,699人と記載していたが、正しくは1,323人となるため、訂正をお願いします。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた件について、質問はあるか。  
次に、本日の案件の中で、議案第1号 浦安市奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定については、事務局より取下げの申出があったが、了解いただけるか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、議案第1号 浦安市奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定については、本日の案件から取り下げることにする。

それでは、議事に入る。

議事の第1. 会議録の承認である。

1. 令和2年浦安市教育委員会第11回定例会会議録について、承認いただけるか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、令和2年浦安市教育委員会第11回定例会会議録は承

認された。

なお、会議録の承認に当たり、会議録の署名を宮澤委員にお願いする。

次に、議事の第2．教育長からの一般報告に移る。

私から報告する。

昨年の年頭の挨拶で、私からこのようにお話しさせていただいた。「いよいよ2020年を迎え、2020東京オリンピック・パラリンピックの開催、そして浦安三社例大祭が行われる年となった。また、新学習指導要領完全実施の年となる。さらに、オリンピックの聖火が本市を通過する7月4日は、教育委員会の主催行事として授業日として取扱い、全校児童・生徒およそ1万2,000人の子どもたちで応援したい」ということをお話ししたが、まさかこのような事態になるとは誰もが予測し得なかったと思う。

2021年度から中学校も新学習指導要領の全面移行となる。

文部科学省では「新しい時代の初等中等教育の在り方」を諮問し、この中で、対面か遠隔・オンライン教育のどちらか一方を選ぶのではなく、発達段階に応じてそれらを適切に組み合わせて使いこなすこととし、個別最適な学びと、協働的な学びを展開することが必要であると示された。

2020年代を通じて目指すべき「令和の日本型学校教育」の構築では、日本の学校教育は、学力の保障と生徒指導や生活指導、全人格的な発達・成長の保障と併せて、教育と福祉的な役割を持った日本型学校教育の強みをこれからも生かしていく。特に今回、コロナ禍において、学校の存在意義が、単なる学校は勉強だけでなく、子どもたちにとっての居場所と示されている。全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するとあり、私はこの考え方を理解し、共鳴しているが、より具体的なチャレンジを検討している。

1点目は、年間を通じて教育課程の平準化を意図した教育課程の編成を提案する。平日にゆとりを持たせ、5時間の授業を増やし、その分、夏季休業を少し短くすることを提案していきたい。

2点目は、子ども一人一人にきめ細かく対応するための組織的な対応として、これまでの小学校の学級担任制を、学年単位の複数職員で教科

分担制を取り入れ、子どもの個性を伸ばし、学力の保障に合わせて、教員の教科指導の専門性を向上させていきたいと考えている。

中学校も学年単位で担任と副担任制という学年経営を行っているが、学級担任を複数にしてダブル担任制を導入することで、子どもたちを分け隔てなく対応でき、且つ教員側も両担任の責任の分担を明確にできることを狙いにしたいと考えている。これらは校内人事となるため、その裁量は学校長にあるが、教育委員会としても指針を打ち出していきたいと考えている。

3点目は、部活動の在り方についてである。検討委員会を数年前から設置しているが、現実に則した実効性のあるプランを2021年度中に示し、3年後から実現させていきたいと考えている。

個人的には学校部活動を全て社会体育に移行させるという文部科学省の考え方に反対で、二項対立ではなく、ハイブリッドな考え方で学校体育と社会体育の両立を目指していきたいと考えている。小中体連内の各委員の専門分野があるため、意見をいただきたいと思っている。

4点目は、今、コミュニティ・スクールの在り方を内部検討で議論しているが、学校教育と社会教育、いわゆる生涯学習の融合化を目指し、浦安ならではのコミュニティ・スクールにしたいと考えている。行政に依存するのではなく、地域社会の中で、ハード面のみならず、ソフト面においても地域の学校となるような存在になるようにと考えている。

年頭に当たり、私が取り組んでいきたいことをお話したが、今後も各委員の意見を伺いながら進めていきたいと考えている。

次に、子どもたちの表彰関係について紹介する。

まず、令和2年度中学生の「税についての作文」の表彰では、見明川中学校の3年の森本晏衣さんが「税金ありがとう」という題で市長賞を、また、日の出中学校の2年生の沼舜貴さんの「医療と税金」という題で教育長賞を、そして、堀江中学校の3年の杉山唯さんが「税と共に生きる」という題で納税組合長賞を受賞した。

このほかに、千葉県知事賞には、見明川中学校の3年の吉田実由さんが「ピンチと税」という題で、東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀

賞には、明海中学校3年の笈恵林さんが「国債という借金」という題で、そして、市川税務署署長賞には、日の出中学校3年、錦織真央さんの「当たり前前に感謝すること」という題でそれぞれ受賞した。私も読ませていただいたが、消費税や公共施設やライフライン等で安心して暮らせるために使われているということ、また、教科書が無償であることや、あるいは18歳になれば選挙により政治に参加し、税の使い道に関わること。そして、自分が今までに体験したことから、子ども医療費助成制度や高額医療費で助けられたというような内容が書かれていた。将来、納税の義務を果たしたいという、中学生らしい純粋な気持ちが随所に込められている作文であった。

また、「第70回社会を明るくする運動千葉県作文コンテスト」では、千葉県保護司連合会会長賞・浦安市保護司連絡会長賞として、浦安中学校の1年生の山際沙恵里さんが「一人ひとりの思いやりの形」という題で表彰された。小学校時代の経験から、偏見や差別について、相手を思いやるという気持ちの大切さを改めて実感し、身近でできるところから実行していきたいという、本当にきれいな心を感じた。

続いて、教職員の表彰についてである。

令和2年度文部科学大臣優秀教職員に高洲中学校の川崎康晴先生が受賞された。川崎先生は、生徒指導主事、あるいは学年経営で学年主任、また、技術科教員として本市の教科指導員として尽力されている。

また、令和2年度千葉県学校健康教育顕彰では、堀江中学校の養護教諭の奥田真里子先生が受賞された。長年、小・中学校の養護教諭として、児童・生徒の保健あるいは健康教育に尽力されたということで表彰された。

最後に、緊急事態宣言の発出について、この後、政府による記者会見が行われる。詳細については、後ほど両部長から説明するが、教育総務部に関しては、感染症対策を徹底の上、学校は平常どおり対応していくが、部活動については、少し制限していく予定である。

また、生涯学習部に関しては、成人式は延期の方向で検討し、オンラインで実施するベイシティーフーフマラソンについては、状況を見ながら、



実施していきたいと考えている。また、各スポーツ競技団体の大会開催については、今のところは自粛の方向で呼びかけている。施設開放については、夜間の時間の貸出しについて、どのようにしていくかを検討しているところである。

新型コロナウイルスの特別措置法に基づく緊急事態宣言が、この後発令される予定であり、また、千葉県知事発令の新型インフルエンザ等特別措置法に基づく協力要請された大変な時期であるが、教育委員の皆様のお恵をお借りしながら、この難局を乗り越えていきたいと考えている。

以上、一般報告とさせていただきます。

次に、議事の第3．審議事項に移る。

議案第2号 浦安市教育委員会バスの運行に関する規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とする。

事務局より説明を求める。

白石教育総務部長 議案第2号 浦安市教育委員会バスの運行に関する規則の一部を改正する規則の制定について、提案理由を説明する。

本案は、使用者名簿（別記第3号様式）を改めるため、所要の改正を行うものである。

使用者名簿について、「多様な性のあり方を知り理解を深めるための対応方針」に基づき、性別の記入を不要とするため、別記第3号様式中の性別欄を削り、新たに年齢欄を加える。

なお、この改正は、公布の日から施行するものである。

説明は以上である。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第2号について質疑を行う。

委 員 年齢を入れる理由は何か。

河野教育総務課長 教育委員会バスについては、12歳未満の児童・生徒に対しては、シートベルトのない補助席を使わせないこと、また、未就学児について、チ

チャイルドシートの着用をお願いしているため、年齢を記入いただく。

委員 性差別という話から、年齢差別に話に移る可能性があったため、質問させていただいた。

鈴木教育長 ほかに何かあるか。

(「なし」の声あり)

鈴木教育長 これより採決を行う。  
議案第2号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、議案第2号 浦安市教育委員会バスの運行に関する規則の一部を改正する規則の制定については、承認された。  
次に、議事の第4. 協議事項に入るが、本日の上程はない。  
続いて、議事の第5. 報告事項に移る。  
まず、1. 行事開催案内である。報告の(1)から(3)について、事務局からの説明を求める。

丸山指導課長 令和2年度教育実践事例発表会について報告する。  
例年、夏季に開催していた教育実践事例発表会を2月9日(火)に開催する。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、時間及び内容を縮小して開催するため、時間は15時から16時30分までとし、また、発表については、平成31年度長期研修生2名と平成31年度道徳教育指導者養成研修ブロック別の指導者研修生の発表のみとした。  
発表会は、市役所会議室で人員制限を設けての参加及びオンラインでの参加を計画していたが、感染症拡大の状況から、急遽、開催方法を変

更し、各学校1名以上の参加でオンラインでの実施にとした。

説明は、以上である。

森田市民スポーツ課長 NTT コミュニケーションズシャイニングアークス応援バスツアーについて報告する。

こちらはトップアスリート支援事業の一環として、1月16日(土)に開催を予定していた。定員70名のところ、131名もの市民から応募があるなど、大変好評をいただいているところだが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、緊急事態宣言が発出される見込みとなったことから中止とした。

説明は、以上である。

金子郷土博物館長 浦安の海苔養殖について、報告する。

1月5日(火)から3月7日(日)まで郷土博物館2階の企画展示室で開催する。

浦安の海苔の歴史、生業を海苔の道具とともに紹介する展示会となる。社会科副読本の学習で、浦安で海苔の養殖が始まるところから、養殖が広がり、その後、海苔の養殖ができなくなり、埋立てに至る変遷を展示で見ってもらう内容となる。

構成1「海苔の歴史」から構成4「海苔の生態」までが、展示の骨格的な部分となる。構成5「ちばのりを食べよう！」については、現在も海苔養殖を行っている行徳の漁協関係者や浦安の販売店の紹介をする。

海苔すき体験については、学校とともに海苔すき体験を毎年、市内全17小学校、第4学年を対象とし、10ページに記載の日程で予定している。こちらの海苔は、先ほど紹介した行徳の漁協の関係者から海苔を調達し、行っていく予定となる。

説明は、以上である。

鈴木教育長 ただいま報告がなされた行事開催案内3件に対する質問を受け付ける。

委員 海苔すき体験で「海苔の持ち帰りはなし」と記載されているが、児童が試食する機会はあるのか。

金子郷土博物館長 今回の海苔すき体験は、例年より小グループのため、全ての子どもたちが体験できるが、それを実際に乾燥するまでの工程を全て行う時間を確保できない。また、新型コロナウイルスの関係で衛生上の問題もあることから、子どもたちが自分たちで作った海苔を食べるということは、行わないような形となる。

委員 以前、私の子どもが、郷土博物館の海苔すき体験で、海苔を持ち帰って食べたら、普段口にはしている海苔とは味が異なり、とても美味しいと言っていた。それ以来、この近辺の海苔が大好きになった。今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で難しいと思うが、可能な限り実際に食べる機会をつくっていただきたいと思う。

金子郷土博物館長 グループ分けをもう少し大きくできるような環境になり、工程も大分先までできるようになれば、原則、食べる形で進めていきたいと考えている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったため、その影響がなくなれば、子どもたちが海苔を口にするカリキュラムになる。

鈴木教育長 自分で作ったものを食べるということは大事なことである。

委員 子どもたちにとって、受け継がれた技を学ぶことはすばらしい経験であると思う。この企画展に限ったことではないが、浦安の伝統は今後も継承していくことが可能なのか。

金子郷土博物館長 郷土博物館では、もやいの会というボランティア団体があり、開館当初から約20年近く協力いただいている。ただ、漁業経験者のもやいの会の会員が高齢化しており、実際に経験をした人が少なくなっているため、

後輩に受け継ぎ、海苔すきを継承している状況にある。今は、まだ実施できているが、今後は、郷土博物館の学芸員を中心とした職員による海苔すき体験のカリキュラムになることも想定される。

また、海苔の状況についてだが、近年は、気象の変化により、ぎりぎりまで海苔が手に入るかどうかという年もあった。今年は、上手く海苔が手に入ったが、その点も今後の存続に向けての課題となる。

鈴木教育長 我が家でもかつて海苔養殖を行っていた。ただ、当時でも海苔すきは機械化されていた。今、子どもたちが体験している海苔すきは、昔のやり方で体験している。現在行われている海苔養殖は、やり方が全く異なっているが、これは子どもたちに紹介するのか。

金子郷土博物館長 今回の展示内容は、昔の海苔養殖を体験できている状況にあるため、昔のやり方が展示に主になっている。現在の自動化されているところについては、「今も続く海苔養殖」で広く紹介できるよう検討させていただく。

鈴木教育長 現在の海苔養殖について話をしてくれる方をお願いしてみてもよい。

金子郷土博物館長 例年2月に海苔講座を開催しているが、今回は講師の都合がつかず、中止となった。海苔講座の中では、現在の状況も詳しく紹介しているため、学校の体験でも、その内容を踏まえて対応できればよいと思う。

委員 教育実践事例発表会について、今回、オンラインとなるということだが、私も参加することが可能なのか。

また、先ほどから話題となっている浦安の海苔養殖や海苔すき体験について、私は非常にすばらしい取組だと思う。これを、もやいの会の方や郷土博物館の職員の皆さんの力を借りて、教科横断的なものに育て上げていくことができれば、よりすばらしいと思う。世代の継承の問題については、よく御存じの方が御存命のときに、ぜひ映像として記録して

おくことが大切であると思う。海苔の講座についても言えることだが、数年に1回は作り直すとしても、カメラで撮影し、映像調査のような形で記録することも検討してもよいと思う。

丸山指導課長 実践事例発表会には、オンラインで参加していただくことが可能であるため、後ほど案内させていただく。

次に、海苔の養殖、海苔すき体験に係る郷土への知識、理解、愛着を育むという教育については、総合的な学習や道徳でも郷土を大切にすることという観点から学びが広がっていくため、学校にも例示をしていきたい。

金子郷土博物館長 以前、海苔すき体験の映像を撮影したものが記録として残っているが、海苔すきの技術という視点で手元をきちんと撮影したものは残っていないため、それを映像に残すことを検討している。

海苔すき体験の事前学習の中では、DVD を作成し、学校に配り、学校で事前学習し、実際の体験を行うという流れとなる。その事前学習のDVDで、技術が伝わるような映像を撮れるよう研究していきたいと思う。

委 員 NTT コミュニケーションズシャイニングアーク応援バスツアーについて伺う。バスを利用し、応募してきた大人と子どもと一緒に移動するという企画自体は良いと思うが、今、新型コロナウイルス感染症が流行している中で、バスの対策ができているのか。個人的には、このような時期にバスでの移動は、非常に危険であると思うが、どのように考えているのか。

実は、11月にイベントの仕事で秋田に行ってきた。子どもたちを対象にしたイベントで当初、移動手段としてバスを使用する予定であったが、保護者側から子どもを現地まで送迎できると申し出があり、全員が保護者の送迎で集合した。千葉県から来た私から見ると、秋田県は感染者数が少なく、すごく安全なところであると考えていたが、このように危機意識をもって対応されていたことに驚いた。

森田市民スポーツ課長 今回のバスツアーについては、定員70名を予定し、新型コロナウイルス感染症対策として、移動は大型バス3台を借り上げ、十分な距離を確保し、もちろんマスク等もした上での実施を考えていた。

鈴木教育長 事前に健康観察はするのか。

森田市民スポーツ課長 当日の体調や状態については、きちんと把握している。

委 員 感染症対策を適切に行った上で、バスを使用していただきたいと思う。

鈴木教育長 この感染症対策については、どこまですべきか難しい部分もある。最近では、受験も自家用車で来られるよう駐車場を400台確保したという学校もあると聞いている。

今回、中止になったことで、参加者からの苦情などはきているか。

森田市民スポーツ課長 今回の中止に関する苦情は、今のところ一つもない状況である。

鈴木教育長 ほかにないか。よろしいか。

それでは、次に、2. 行事・会議報告に移る。

報告事項の(1)から(3)については、事前に配布した資料をもって報告とさせていただきます。

行事・会議報告3件に対する質問を受け付ける。

委 員 生涯学習フォーラムについて、「特別支援教育の生涯学習」について講師の方に講演いただいたことに関連して、合理的配慮があると思う。学校の先生方も多分苦心されていると思うが、とくに若い先生方にとっては、特別支援教育についての理解を深める場を作る必要があると感じた。

また、社会教育委員会議の開催報告で、今回、市民参加推進課と市民

活動センター、社会福祉協議会の方々が参加されており、個人的に非常に素晴らしいことだと感じた。また、学校も自治会をはじめ保護司など、様々な方が参加されている。その辺りの力を結集して、学校を中心に地域づくりができるきっかけになればいいと思う。

鈴木教育長 生涯学習フォーラムは、昨年度から市民活動や障がい福祉課とコラボしながら開催しており、改めて生涯学習の範囲は広いと感じた。私も参加させていただいたが、有意義なフォーラムであった。今、委員から発言があったように、学校教育と結びつけられることができれば、地域づくりにもつながってくると思う。次回の企画では、その辺りも検討いただきたいと思う。

ほかによろしいか。

次に、3. その他・報告事項に移る。

報告事項の(1)から(2)については、事前にお配りした資料をもって報告とさせていただく。

報告事項の(3)から(4)について、事務局からの説明を求める。

平林千鳥学校給食センター所長 千葉県産水産物を活用した学校給食提供事業実施報告について説明させていただく。

千葉県では、新型コロナウイルスの影響を受け、需要が低迷している水産物を学校給食の食材として提供することで、消費の拡大を図るとともに、給食を通じた食育活動に取り組んでいる。本市でも千葉県の事業を活用して千葉県産水産物のおいしさを伝え、また、水産物や水産業に関心を持ってもらうことを目的に、県より無償でハマチの提供を受け、学校給食の献立とした。

令和2年11月24日に市立小学校全17校で実施した。

この事業に対するアンケートとして、全17校から計163件の回答を頂いた。集計結果は、児童の反響について、「非常に好評」と「好評」を合わせ75%、先生からは「非常に良かった」、「良かった」を合わせると86%となっている。主な意見については、食育についての意見、学校給



食で魚を提供することについての意見などがあり、その内容は記載のとおりである。

事業の成果について、児童は、「非常に好評」と「好評」を合わせ75%、先生は、「非常に良かった」、「良かった」を合わせ86%となり、事業は概ね好評であったと考えている。また、感想に「とてもやわらかく、おいしい」などがあることから、事業の目的である千葉県産水産物のおいしさを伝えることができたと考えている。

また、もう一つの事業目的である、千葉県の水産物や水産業に関心を持つことについては、「普段、特に産地等を意識していない様子だったが、考える機会となった」などの感想があり、児童が関心を持つきっかけになったと考えている。さらに、先生から「子どもたちも、魚が嫌いな子も多く、おいしい魚を食べる日本人の文化を給食を通して子どもたちに伝えていきたいと思いました」との感想があり、児童だけではなく、教員の食育に対する意識向上にもつながったと考えている。

今後も食育の推進に取り組むとともに、千葉県事業などがあれば積極的に活用していきたいと考えている。

丸山指導課長 冬季休業中の事故について報告する。

事故等の件数については、幼稚園・認定こども園で、けがが2件、そのほか1件、小学校では、けがが2件、中学校でけがが1件であった。昨年度は、10件だったため、昨年度よりも減少している。今後も、子どもたちの安全指導については、学校と連携して行っていきたいと考えている。

鈴木教育長 ただいま報告がなされたその他・報告事項4件に対する質問を受け付ける。

委員 相談事業のスクールライフカウンセラーによる教育相談についてだが、中学校で「その他」の案件が前年から増えており、そのうち214件は教職員の相談だったということだが、どのような内容か。共有できる範囲で

教えていただきたい。

また、いちよう学級の件で、「学校との情報交換の機会を設けたり、必要に応じてケース会議を行ったりしてきた結果、通級生の登校回数やいちよう学級への通級回数が増えてきている」というのは、成果が見られているという理解でいいのか。

丸山指導課長 今年度、大変顕著だったのが、カウンセラーが教職員の様々な悩みを受け止めて相談を受けているということであった。やはり子どもたちの様々な課題に対してどのように指導したらよいかということや、あるいは、発達に関係して指導に苦慮しているという先生方の相談に乗っていたという報告を受けている。

山本教育研究センター所長 いちよう学級に来ている子どもたちについては、学校の担任の先生が子どもたちの様子を見に来たり、通級の先生方が学校に出向き、学校で使っている教材をいちよう学級でも使うことで、子どもたちが安心感を持ち、学校に行けるようになった事例がある。

また、いちよう学級だけではなく、まなびサポートを含め、関係機関が集まり、必要に応じてケース会議を行い、支援につなげている。

河野教育総務課長 1件資料の訂正をお願いします。

(1)の教育委員会共催・後援行事一覧に記載されている創業支援セミナーは、商工会議所から中止との報告を受けたため、資料の訂正をお願いします。

鈴木教育長 学校給食センターの千葉県産水産物を活用した学校給食提供事業実施報告は、非常にいい事業であったという報告であったが、提供された食材は何か。

平林千鳥学校給食センター所長 ハマチの無償提供を受けた。無償提供となる食材には、イセエビやサバなど、様々な食材があったが、その中から、給食センターで調理でき

るものとして、ハマチとした。

鈴木教育長 ハマチをどのように調理したのか。

平林千鳥学校給食センター所長 照り焼きを児童に提供した。

鈴木教育長 この食材について、産地など事前に資料をもらっているのか。

平林千鳥学校給食センター所長 学校には事前にアンケート調査票をお渡しし、説明をした。ただ、献立表に記載できなかつたため、児童に伝わりにくかつたことが課題であった。1月には畜産物で牛肉の提供があるため、今回は、献立表に掲載し周知をする予定である。

鈴木教育長 調理員や栄養士が学校に出向いて説明すると、児童はその日の給食をよく食べる。また、体験して自分で作ったものだから、美味しいというのと同じで、ただハマチの照り焼きを提供するのではなく、このハマチが千葉県産であることや、それが出世魚であるなどの学習があつて食べたのか、それとも、今回の事業は先生だけが知つていて、子どもたちは何もわからずにハマチを食べたのか。

平林千鳥学校給食センター所長 学校給食センターから全学校に共通でお知らせをしたところだが、学校により対応が異なつたようである。給食委員が校内放送をした学校もあれば、そうではない学校もある状況となる。

鈴木教育長 食育として扱わなければ、単なる食材提供となつてしまう。今回は、食育として、千葉県の畜産について学ぶ必要があると思う。先程、委員から発言のあつたように、総合学習で教科横断的に行う必要があると思う。

特に浦安市は、自校給食でないため、給食を提供されて、ただ食べているというイメージがある。学校給食センターでは、いつも美味しく、

安全で安心な給食を提供していただいているが、このような機会を好機と捉えて、食育の推進を図っていただきたいと思う。

平林千鳥学校給食センター所長 今回のアンケートでも5年生の学習で水産業について学習するため、タイミングがよかったという回答もいただいたが、学校給食センターでも周知を図り、食育として提供する形をとっていきたい。

大友教育総務部参事 学校給食センターに栄養教諭が配置されているため、食育については、栄養教諭と学校が連携しながら進めていく。次回は、牛肉で、メニューは牛丼とハヤシライスとなる。どのように学校に周知するかを含めて栄養教諭に検討いただき、学校で発達段階に応じて紹介してもらうよう校長先生方にお伝えしたいと考えている。

委員 教育相談で、スクールカウンセラーが入ることにより、これだけ好転割合が増えている。同僚の人には話せなくてもカウンセラーに伝えることで、自分も回復し、その状況も好転していくということが顕著に現れていると思う。

鈴木教育長 以前、私も指導主事でカウンセラーを担当していたが、心理の専門といっても学校のことが分からない人に相談することについて、少し否定的な部分があったが、委員のご発言にあったように教員以外の方にこのような相談ができる環境ができたことは良かったと考える。一方で、教員同士のつながりが以前よりも薄くなったとも言えると思うがいかがか。

丸山指導課長 スクールライフカウンセラーの報告の中には、教員同士のトラブルや教員同士でなかなか理解してもらえないというような悩みについても報告が来ている。

鈴木教育長 教員同士のトラブルの際には、教員ではない人に相談ができるというのは良いことだと思う。

今、学校には、教員や養護教諭以外にもカウンセラーや司書、事務などたくさんの方がいるが、そのことについては、どのように思われるか。

委員 いろいろな方が学校に入っていないと難しい時代になったと言えらると思う。子どもたちを見ていても、同年齢の友達も限られ、異年齢で一緒に遊ぶ機会もほとんどないまま大人になってしまうことが、影響しているのではないかと思う。

鈴木教育長 今は異年齢の関係もあまりないため、学校ではあえて縦割りのグループをつくっている。兄弟も少ないため、そのような活動を学校の中で意図的に組んでいる。

委員 今は、小さいうちから子どもの個性を大事にしている親が多いと思うが、私は、きちんと教育がなされた上での個性であると思っている。何か社会の在り方がそのようになってしまったのではないかと思う。

鈴木教育長 そういう意味では、このようにカウンセラーに相談できる環境は良いことであると思う。この教職員の相談では、小学校と中学校では、どちらが多いのか。

丸山指導課長 中学校の教員の方が顕著であると聞いている。

委員 相談できる人がいるということが、自分を支える一つの柱となるため、同じ職場の人間関係を良くすることをみんなが意識していかなければいけないと思う。生徒への対応や接し方の相談が多いということであったが、その辺りの知識もつけていかなければいけないと思う。今、インクルージョンやダイバーシティなど、いろいろと叫ばれているが、今までは専門の人に任せられたことをこれからは自分で対応しなければならなくなっている状況の中で、わからないことを気軽に聞けるという場をつくっていくことが非常に重要であると思う。

委員 自分がアメリカの大学に行っていたときは、必ず授業の始めと終わりにチームビルディングのカリキュラムが入っていた。かつての日本では、自然に仲良くなるという社会であったと思うが、最近の大学生を見ると、チームビルディングを授業で行わないと、なかなかゼミで仲良くなれない。チームビルディングのようなものを積極的に行い、組織の土台をつくるのが、今の日本の組織として全体的に不足していると思う。

鈴木教育長 とくにいじめの問題では、本当は子ども同士での解決を望みたいが、すぐに大人が関与してしまう。子どもたち同士のトラブルはあって当たり前であり、それを解決していく力をつけさせることが大切であるはずなのに、その前に大人が介在してしまうことで、上手く解決することができなくなってしまう。学校には、教科とは別に特別活動という領域があるが、昔と比べると時間も内容も少なくなっている。集団の中で、どのように生きていくかは、子どものときから、ある程度、意図的に学ぶ必要がある。先程、大学生についての話があったが、大学生は義務教育を受けてきた子どもたちで、その後、大人になった教員が、カウンセラーに相談をしている話を聞くと、全てが繋がっているようにも思う。

この話については、今後も議論していきたいと思う。

それでは、次に、議事の第6. その他に入る。

この後、千葉県を含む1都3県を対象に緊急事態宣言が出される予定ということに伴って、本市の学校教育及び生涯学習、生涯スポーツの対策について、両部長から教育委員会としての対応について説明いただきたい。

白石教育総務部長 それでは、1都3県に緊急事態宣言が出された場合の学校の対応について説明させていただく。

基本的な方針としては、国も小・中学校の一斉休業は行わないという方針であると伝わっていることから、具体的には、本市の小・中学校については、平常日課と考えている。ただし、感染者等が発生した場合に

は、市のガイドラインに基づいて対応していく。また、国のマニュアルに沿った対応となるよう改めて学校に通知する旨を市長より指示を受けた。

在宅児童への対応については、タブレットの有効活用として、オンラインホームルーム、あるいはeライブラリーなどの活用を行っていく。

また、3学期に延期していた修学旅行や林間学校の代替行事などの学校行事についても実際に実施できるかどうかを検討する。

部活動は制限し、平常の活動については17時まで、土・日曜日は原則活動は行わない。また、対外試合も行わない方向で検討している。

以上です。

八田生涯学習部長

生涯学習部については、まず、イベント等について、1月5日に開催された新型コロナウイルスに関する対策本部会議において、1月11日に開催予定であった成人式を3月7日に延期する。オリエンタルランド社の多大な協力があり、延期することができた。成人者には昨日、延期の通知を送ったため、本日には市内の成人者に届いていると思う。

また、先ほど市民スポーツ課長から説明があったとおり、新国立競技場で開幕するラグビートップリーグの試合観戦については、バスでの移動等があるため、密対策を行った上で開催する予定であったが、緊急事態宣言を受けて中止とすることとなった。

さらに、1月1日から20日までの間で、オンラインマラソンの受付をしている。実施は2月1日から15日までの間で、トータル走行距離を競うもの、それからハーフマラソンのタイムを競うものをオンラインで受付するものとなる。

現在、約600名の登録があると聞いており、こちらは、個人で走行するものとなるため密対策ができるため、開催する方向で考えている。ただし、感染状況により緊急事態宣言等が延期されたり、制限が強化されたりした場合には、調整していきたいと考えている。

さらに、市民大会等を開催予定している競技団体においては、市から自粛要請をさせていただいた。この中で、バスケット協会からは、開催

予定だった大会を中止するという報告を受けている。

さらに、青少年自立支援未来塾については、施設の開閉館の決定にもよるが、現在、公民館で行っているため、公民館の開館する時間帯の中で調整をしていきたいと考えている。受験期に向かう子どもたちへの支援となるため、できるだけ実施したいと考えている。

施設の利用制限については、基本的には国が20時以降の外出を自粛とすることで、発表される予定であることから、今のところ、市の施設は基本的には19時に閉館し、20時までには自宅に帰っていただく時間と考えている。利用区分が、2時間区分や4時間区分となっていることから20時ではなく、19時という区分で予定しており、こちらも新型コロナウイルス感染症対策本部会議での決定を受けて市民の方々に案内したいと思っている。

利用についても、利用人数の制限や市外者利用の抑制、入館時の管理などの制限で、日中は開館していきたいと考えている。

以上である。

鈴木教育長      この後、18時からの緊急事態宣言の発表を受け、その後、新型コロナウイルス感染症対策本部が開催される予定である。

委            員      保護者から「危ないから学校に行かせたくない」という要望があった場合、どのような対応になるのか。

大友教育総務部参事      国から指示があり、新型コロナウイルス感染症を理由にで欠席をさせたい場合には、欠席扱いにはならない。

鈴木教育長      学校長の判断となる。今、校長会では、タブレット端末を上手く活用し、学習できる仕組みを検討している。

委            員      タブレット端末が無い場合は貸し出すのか。



鈴木教育長　　そうである。

委　　員　　今後、どこまで制限をかけていくのかが難しい。

鈴木教育長　　近隣市の施設の多くは、休館とする方向と聞いている。本市として今後どうしていくかを検討する必要がある。

委　　員　　学校の先生は大変と思う。責任問題にも関わってくる。

委　　員　　給食は提供されるのか。

鈴木教育長　　給食は提供する。ただ、校長役員会でも給食が気がかりであるという話が出たようである。子どもたちは前を向いて、話をしないで食べることを徹底している。

委　　員　　保育園でも広いプレールームのようなところで離れて座り、同じ方向を向いて食べさせている。その状況で何事もなく過ごしているため、多分、大丈夫なのではないかと思う。

委　　員　　成人式についてだが、ぜひ、コロナを抑えて開催できれば本当にいいと思うが、万が一、収束しなかった場合、どのようにするのか。

また、今日の議案第2号で、様式から性差別に関する表記を除くという話があったことに関連して、学校のトイレは、男子、女子のみで、多目的はなかったと思う。大学では少しずつ、改善していっていると思うが、その辺りの対応はいかがか。

八田生涯学習部長　　成人式について、3月7日に開催できない状況になった場合においても、市長は何とか開催したいという思いがあるため、夏頃までは延期の方向で考えている。ただ、これもオリエンタルランド社の絶大な協力がないと開催が困難であるため、夏頃までは開催に向けた努力をしていき

たいと考えている。

白石教育総務部長 学校の多目的トイレについては、市内小・中学校には、各校必ず1つは設置している状況である。

鈴木教育長 ほかにあるか。よろしいか。  
以上で令和3年浦安市教育委員会第1回定例会を閉会する。

閉 会 （午後4時14分）